

めでいかすとり
Médicastre



「湯見ヶ滝」

鶴岡地区医師会勉強会抄録

日 時：平成26年6月26日(木) 19:00～
場 所：医師会館 3階講堂

『 泌尿器科癌治療の現況 』

山形大学医学部腎泌尿器外科学講座
教授 富田 善彦 先生

泌尿器科領域で診断治療の対象となる主ながんは、前立腺癌、腎癌、膀胱癌、精巣腫瘍であり、その2012年の年間死亡数は、それぞれ、11,143、8,334、7,299、81名である。ただし、腎癌の中には腎細胞癌（4,565）腎盂癌（1,708）尿管癌（1,674）が含まれている。泌尿器科領域で扱ったと思われる部位不明癌の死亡が約600名であるのですべてを合わせると約27,500名となる。年間の悪性新生物による死亡が約360,000名であるから泌尿器科癌は8%弱を占めていることになる。当然ながら、罹患数はこの数倍となる。これらの、ほぼすべての症例で診断から治療（除・放射線療法）までを泌尿器科医が担当しているのが現状である。

ここ数年での泌尿器科癌診療でのトピックとしては、1. 手術補助ロボット（da Vinci）の導入と、主に前立腺癌手術に対する使用、2. 分子標的薬による進行性腎細胞癌治療の進展、3. 新規前立腺癌治療薬の登場、が挙げられる。

「1」では、これまで、症例によって手術中の高度な出血が不可避であった根治的前立腺摘除術が、100ml以下の出血で手術可能となり、また、切開創も5cm未満であることから、極めて低侵襲かつ高品質の手術が可能になった。さらに、腎細胞癌の腎部分切除や根治的膀胱摘除術への使用も開始されている。

「2」では、IFN- α やIL-2などサイトカインのみが使用可能な薬剤であったが、これまでにsorafenib、sunitinib、axitinib、pazopanib、everolimus、temsirolimusの6つの分子標的薬が使用できるようになり、予後の改善（生存期間の延長）に寄与している。さらに、これらの薬剤が無効となった症例にも有効であるimmune checkpoint inhibitorが開発されつつある。

「3」では、前立腺癌は一般に男性ホルモン抑制療法（内分泌治療）が奏功することが多いが、それに抵抗性になると（castration resistant prostate cancer=CRPC）全生存期間の中央値が2年程度であり、これまで有用な薬剤はドセタキセルのみであった。しかし、現在、新規抗アンドロゲン薬enzaltamideが本邦でも使用可能となり、さらに、abiraterone acetateや骨転移治療薬alpharadin（radium 223）などの開発が進んでおり、生存期間の延長が期待されている。

鶴岡地区医師会 第99回定時総会

日 時：平成26年5月28日(水) 19：00～
場 所：医師会館 3階講堂

三浦議長：定刻となりましたので、一般社団法人鶴岡地区医師会第99回定時総会を開会いたします。最初に御橋事務局長より資格確認をお願いします。

御橋事務局長：資格確認についてご報告いたします。会員総数189名、19時現在の出席者数33名、委任状の提出者105名、計138名となり定款第19条総会の成立に必要な過半数の出席を満たしておりますので、本総会は成立いたします。

三浦議長：ありがとうございました。会長挨拶に移ります。三原会長、宜しく願います。

三原会長：皆さんこんばんは。お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。

さて、鶴岡地区医師会は、平成25年4月1日に一般社団法人へ移行し、新しい定款のもとで運営されています。新定款では、総会のあり方も大きく変わりましたので、まずは、その説明をさせていただき、挨拶に代えさせていただきます。従来、医師会事業の予算や決算は、年2回のいわゆる「予算総会」、「決算総会」に分けて、審議・承認して頂いておりました。一方で、新しい定款第47条では、予算に関しては「会長は、毎事業年度の開始の日の前日までに、事業計画書及び収支予算書を作成し、理事会の承認を受けなければならない。前項の書類は、理事会の承認、総会に報告しなければならない」と定められ、予算は総会においては報告事項となりました。また、決算については、定款第48条で「事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、会長が必要な書類を作成し、監事の監査を受けたうえで、理事会の承認を受けなければならない。また、理事会で

承認を受けた書類のうち、事業報告については総会にその内容を報告し、貸借対照表、損益計算書の書類については総会の承認を受けなければならない」と定められています。したがって、この定時総会においては、新定款の定めに準じ、平成25年度の会務報告、公益目的支出実施報告、監査報告、平成26年度事業計画、予算書および正味財産増減計算書につき、ご報告させていただき、平成25年度の決算について、ご審議の上ご承認をいただくものであります。事業が多岐にわたり、また、資料も膨大ではありますが、なるべく簡潔に説明させていただきよう各担当理事も準備を整えてきたところです。慎重審議の上、ご承認のほどよろしく願います。なお、現役員につきましては、本日の総会終了時点で任期終了となります。会員の皆様の2年間にわたる、ご指導、ご支援に感謝申し上げます。挨拶とします。

三浦議長：ありがとうございました。

続きまして議事録署名人の選出に移らせていただきます。どなたか立候補される方はいらっしゃいますでしょうか。どなたもいらっしゃらないようですので、こちらから指名させていただきます。木根淵清志先生、滝沢元先生の両先生にお願いしたいと思います。よろしく願います。それでは次第に沿って進めてまいります。この度から報告事項が増えましたので、円滑なる進行にご協力くださいますようお願いいたします。では平成25年度会務報告について総務担当の小野理事お願いいたします。

小野理事：はじめに、今回は資料が多岐にわたり、わかりにくく、申し訳ありません。また、公益法人会計基準を採用した初年度の

ため財務諸表には前年度実績は記載していません。一部の収支計算書も科目変更があり、わかりにくくなっている点を初めにお詫びいたします。読み上げる金額については100円以下を切り捨てとさせていただくことにいたしました。では、平成25年度、会務報告をさせていただきます。平成25年度の新入会員はB会員5名、退会はB会員4名でございます。また会員区分や勤務先変更の先生方が9名ございました。この間、阿部寿美子先生、中村純先生がお亡くなりになりました。亡くなられた先生方に哀悼の意を表したいと存じます。議長、よろしくお取り計らいのほどお願いいたします。

三浦議長：それでは全員ご起立願います。お亡くなりになられた阿部寿美子先生、中村純先生に哀悼の意を表し、黙祷を捧げたいと思います。

～黙祷（1分間）～

黙祷をお解きください。ご着席ください。引き続き小野理事よろしく願います。

小野理事：平成26年3月31日現在の会員は191名でございます。続いて、2ページ以降をご覧ください。会議関係では平成25年5月に第28回定時総会が行われ、平成24年度決算、役員退職慰労金、後任理事の選任についてご審議いただきました。これまで開催していた3月の予算総会は、新法人移行を機に行わないこととなりました。平成25年度は12回の定例理事会と2回の臨時理事会を開催いたしました。内容につきましては資料をご覧ください。

引き続き事業報告について、14ページ以降をご覧ください。詳しくは後程第1号議案で各事業会計より説明させていただきますので、新規のもの、特筆すべきもののみ簡単にご報告いたします。総務関係では緊急災害マニュアル作成委員会を開催し、大規模災害に備えた対策マニュアルの

作成とともに新規の設備の導入を検討いたしました。医療連携・医療情報関係では地域医療連携室を中心とした会議や研修会、各連携パスや全体会の開催、庄内プロジェクト関連の会議・報告会などが活発に取り組みられました。健康管理センターでは今年度新たにCT内臓脂肪測定に取り組み1,451人が受診いたしました。また、会員共同利用も開始いたしました。11月に人間ドック健診施設機能評価を受審しVer3.0の認定を受けました。3月に健康管理センター設立30周年祝賀会を開催いたしました。今後、記念誌を発行する予定です。在宅サービスセンターでは登録施設の介護職員へ痰吸引などの実地研修を行いました。庄内病院、湯田川温泉リハビリテーション病院看護師の訪問看護研修を行いました。准看護学院では山形県での看護教員養成講習会に2名が参加し、教員資格を取得いたしました。以上です。

三浦議長：ありがとうございました。只今の報告にご質問のある方いらっしゃいますでしょうか。では次に平成25年度 公益目的支出実施報告、関連財務書類について小野理事お願いいたします。

小野理事：平成25年4月1日より鶴岡地区医師会は一般社団法人に移行いたしました。一般社団法人に移行する際に、これまで寄附や税制優遇等を受けて形成してきた財産が、公益以外に費消されることは適当ではない、純資産が残っている法人は「公益目的支出計画」を作成し、公益目的財産額に相当する金額まで公益を目的とする支出を行うこと、また実施報告書を毎年度作成し監査を受け、理事会承認、総会に報告し、主務官庁に報告することとされています。各公益目的事業についての説明がございます。継1. 公衆衛生の向上を目的とする事業 一般会計に相応する分野の事業が事業内容として1-5まで記載されています。下段に計画での支出と収入の金額が

記載されています。平成25年度の計画では支出見込みが7,206万7千円、収入見込みが4,745万1千円。差額の2,461万6千円が公益目的支出計画でした。実績は6,017万円の支出と2,514万5千円の収入があり、差額の3,502万4千円を公益目的に支出したということになります。同様に継2. 准看護師養成事業、継3. 鶴岡市及び近隣住民の健康を増進する事業、継4. 居宅介護支援・地域包括支援事業、継5. 地域診療所と連携した介護老人保健施設みずばしょうの運営が記載されています。以上の5つの事業を公益目的の支出事業として届け出ています。1ページに戻っていただき、5事業の合計です。公益目的財産額23億9,070万5千円が昨年度当初の公益目的財産額です。公益目的事業を行い、支出9億1,322万8千円、収入7億9,901万4千円、公益目的財産額の内、差額1億1,421万4千円を公益目的に使用したとの結果です。資料下段の支出計画の状況をご覧ください。計画では収支差額が1億2,259万円となる計画でしたが、1億1,421万4千円となり公益目的支出が837万5千円少なくなりました。今年度は公益目的財産残額が22億7,649万1千円となります。以上です。

三浦議長：ありがとうございました。公益目的支出計画実施報告書に関する監査報告を阿部監事、お願いいたします。

阿部監事より説明（略）

三浦議長：ありがとうございました。只今の説明にご質問のある方いらっしゃいますでしょうか。では引き続きまして平成26年度事業計画、予算書、および正味財産増減計算書について、小野理事お願いいたします。

小野理事：続きまして、平成26年度鶴岡地区医師会収支予算についてご報告いたします。新法人となり、予算については理事会承認、総会への報告となりました。平

成26年3月理事会において承認された収支予算についてご報告いたします。平成26年度鶴岡地区医師会事業計画、収支予算・内訳明細をご覧ください。7ページ以降に各会計の重点項目ないしは事業計画、収支予算・内訳明細がございます。説明時間が限られているため、各事業の内容についてはご覧いただき、説明は省かせていただきます。1～6ページにあります全体をまとめた正味財産増減計算書内訳表について説明させていただきます。1～2ページをご覧ください。表の上段、実施事業等会計は公益事業、その他会計は公益以外の事業、法人会計は総会・理事会など法人としての運用にかかわる事業のことでございます。准看護学院事業会計のカッコ内に共通とありますのは収支予算の一般会計の中で准看護会計にかかわる経費と考えられる費用4.4%を割り振っています。他の会計も同様に、一般会計よりの相応分を費用に加算してございます。内訳表をご覧ください、合計部分を赤い付箋の資料4～6ページに記載しています。合計部分を読み上げさせていただきます。Ⅰ. 一般正味財産増減の部 当期一般正味財産増減額はマイナス3,654万8千円。一般正味財産期首残高を加えた一般正味財産期末残高は22億9,828万7千円です。Ⅱ. 指定正味財産増減の部 当期指定正味財産増減額は2億5,235万8千円、指定正味財産期首残高を加えた指定正味財産期末残高は4億5,023万6千円です。Ⅲ. 正味財産期末残高は27億4,852万3千円となる計画です。

三浦議長：ありがとうございました。ご質問のある方いらっしゃいますでしょうか。

齋藤壽一先生：決算で特定資産運用益が計上されているところと、されていないところがありますが、その違いは何ですか。

小野理事：特定資産については、新法人への移行にともなって財務科目の規定の変更がいくつかありました。従来ありました基金を

なくしてあります。基金については、入会金を積み立て、それを基本財産に組み入れて法人の基本的財産とするという規定でした。これからの基金は返還義務を負う資金であり、事業を行う際、出資者からお金を募って基金をつくり、どのように返還するかきちんと定めなければいけないという規定になっております。返還義務を伴うお金の集め方を基金というので鶴岡地区医師会では基金をつくるのができません。基本財産については、所轄官庁によっては基本財産をもっていないと法人として認めないということと、基本財産を維持しなければならないと指導されておりました。一般社団法人の法律では特定財産に関しての規定は削除されています。今後の基金の運営については法人に任せるものであり、運営していくのであれば特定財産のようにきちんと運用するということを定款に定めて、報告しなければいけません。特定財産をつくる意味がどこまであるのか、医師会で深く議論はしていませんが基金をつくらぬのに特定財産をもつのはいかなものかということで引当資産も当然無くなり、基本財産となるべき資産は無いことになりました。今回の会計処理として、定款から財産の項目が削除されましたので、24年度末まで基金引当資産に積立していました3,808万9,606円を減価償却引当資産に移管し、25年度基金引当資産に積み立てる予定でいた162万7,772円を同じく減価償却引当資産に積み立てております。これからは運用できる資産に積み立てていくということです。

三浦議長：よろしいでしょうか。

他にご質問はございませんでしょうか。

齋藤壽一先生：ふきのとう会計の繰入金が一一般会計から200万円となっていますが、平成25年度見込額200万円、収支差額が176万5千円で収益が上がっても繰入金の減額は考えなかったのですか。

福原副会長：平成26年予算、平成25年度決算にも関わることですが、前年度は繰入金を計上しておりませんでした。収支計算書からは繰入金をもらわずに運営できそうですが、資金繰りが難しく、実際には80万円の仮受金も発生しております。今年度、運転資金引当預金取得支出に200万円計上しておりますが、これでも足りず来年度は400万円に増額しています。

齋藤壽一先生：受託料収入のタイムラグはどのくらいですか。

福原副会長：2ヶ月です。

齋藤壽一先生：2ヶ月遅れと分かっているのにどうして資金繰りができないのですか。

福原副会長：平成26年度はじめの現金預金は168万円でした。平成24年度に繰入金を戻す処理を行いました。運転資金引当預金として計上するべきだったと反省しております。

齋藤壽一先生：80万円の仮受金はどの会計から受けたのですか。

福原副会長：一般会計からです。

三浦議長：よろしいでしょうか。他に何か質問はありますか。

齋藤壽一先生：湯田川温泉リハビリテーション病院にですが、駐車場修繕工事が平成25年、平成26年と65万円ずつ発生していますが分割して行う理由はあるのですか。

堀部長：平成25年度の支出に関しては、来客用の駐車場、平成26年度は職員駐車場の工事であり、年次的に行っていくという意図はありません。

齋藤壽一先生：一括して行った方が単価も下がるので、やはり意図的に行っているのではないですか。

堀部長：夏から秋口にかけて工事をしないと駐車場が利用できない状況だったため平成25年度実施させていただきました。

齋藤壽一先生：鶴岡市で整備した高額な医療機器の内訳を教えてください。

堀部長：散薬分包機及び調剤支援システム 735

万円、画像診断支援システム241万5千円、高圧蒸気滅菌器27万8千円。修理はX線一般撮影装置168万、サービス棟屋根修繕115万5千円、合計1,287万8千円の部分を鶴岡市から整備、修理していただきました。

齋藤壽一先生：鶴岡市が100万円以下を負担したのですか。

堀部長：医療機器は20万円以上、工事、修理は100万円以上と鶴岡市と覚書を結んでおります。

三浦議長：他になければ報告について終了いたします。

続きまして、第1号議案に移ります。

平成25年度 決算承認の件について、各担当理事から報告を受けたいと思います。最初に一般会計について、小野理事よろしくお願いいたします。

小野理事、本田理事、齋藤理事、土田副会長、福原副会長、武田理事、上野理事から原案により説明（略）

三浦議長：ありがとうございました。続いて財務諸表についての説明を小野理事お願いいたします。

小野理事より説明（略）

三浦議長：ありがとうございました。では、監事監査報告を阿部監事よろしく願います。

阿部監事より説明（略）

三浦議長：ありがとうございました。それでは、質問を受け付けます。

鈴木伸男先生：健康管理センター事業計画評価の、大項目1中項目5)の医療安全管理体制の強化の評価についてです。「繰り返されるヒューマンエラーに対し検証を行いインシデント・アクシデント減少に向けて取り組んだ」と書いてありますが、これは結果や評価ではなく姿勢を表していると思います。湯田川温泉リハビリテーション病院や介護老人保健施設みずばしょうは件数を報告しているようです。仲間倒して悪いの

ですが、繰り返されるヒューマンエラーの実情を教えてください。また、次年度からはインシデント・アクシデントの報告については件数を記載してはどうでしょうか。

渡部課長：月に1回医療安全対策委員会を行い、各課からのインシデント・アクシデントの報告をもとに対策、検証を行っております。検証方法については事業計画の評価で報告させていただきました。次年度からは件数も報告させていただきたいと思いません。繰り返されるヒューマンエラーというのは健診施設ですのでそれほど大きなものではございません。確認ミス、料金徴収ミス等の単純なミスも含まれています。

鈴木伸男先生：ありがとうございました。

三浦議長：事前に湯田川温泉リハビリテーション病院とみずばしょうの給食に関する原価計算を呈示くださいという質問をいただいております。各担当理事より回答願います。担当理事、武田先生、上野先生の順で回答よろしいでしょうか。

武田理事：医業収入は、入院食事療養費8,228万円、デイケア食費543万円、栄養管理実施加算相当額431万円、食事指導等2万円計9,204万円となっております。事業支出は、固定費と変動費に分けて算出しております。固定費は、職員人件費1,549万円、給食業務委託3,468万円、その他92万円です。変動費は、給食材料費3,788万円、光熱水費374万円、その他225万円です。事業費支出計は9,496万円となります。医業収入から医業費支出を引いた収支額はマイナス292万円です。平成24年度の収支差額は90万円ほどでした。25年度4月の人事異動で管理栄養士の1名増により固定費における職員人件費が増になっている現状です。

上野理事：みずばしょうでは、平成25年度の収支から部門別の原価計算を行いました。給食部門の収入は、入所食費4,920万円、短期入所食費185万円、デイケア食費682万円、栄養マネジメント加算464万円、療養

食加算70万円 計6,321万円となっております。それに対する支出は、職員人件費711万円、給食業務委託料5,341万円でこの中には材料費も含まれます。給食材料費123万円、光熱水費99万円、その他12万円 計6,286万円となり、収入から支出を引いた収支差額は35万円となっております。

三浦議長：他にいかがでしょうか。

齋藤壽一先生：湯田川温泉リハビリテーション病院のカード型テレビについてです。収入が163万円、支出が165万円とあり、通常であれば手数料等で支出より収入が上回るはずですが、どうして支出が多いのですか。

堀部長：テレビの契約は年度途中に行っております。収入に関しては年度を超えて借りているということもありますので、タイムラグだと考えられます。

齋藤壽一先生：カードはその都度購入すると思うので、タイムラグは発生しないのではないですか。手数料はいくらもらっているのですか。

堀部長：カード会社と個人との契約になるので、手数料はいただいております。場所を貸しているという状況です。

齋藤壽一先生：貸しているのにも関わらず、収入が少ないのはどうしてですか。収入より支出が大きいというのはおかしいと思います。手数料はもらっていないのですか。

堀部長：今、手元に資料がありませんので後日の報告でよろしいでしょうか。

齋藤壽一先生：その中身が分からなければ決算にならないのではないですか。

大井次長：売上に応じて収入が決まるのではなく、病院で購入したカード代がそのまま収入になる契約に変更いたしました。

齋藤壽一先生：契約書はあるのですか。

大井次長：ありますが、今日は持ち合わせておりません。

齋藤壽一先生：赤字になるような契約を結んだのですか。

大井次長：結果としては、そのようになってし

まいりました。

齋藤壽一先生：何のために赤字になるような契約を結ぶのですか。監査をもう1度行って下さい。

阿部監事：カードを購入する患者様が減少しているのでは赤字になるのではないですか。

大井次長：それもあります。

阿部監事：赤字事業の対策も視野に入れていくとうことですか。

堀部長：はじめから病院が赤字になるようなことはしません、なお内容をよく検討していきたいと思います。

齋藤壽一先生：なぜ契約の内容を変更したのですか。

大井次長：契約を更新した時の利用状況と現状では売上が減少しているのが大きな要因のひとつだと考えられます。

齋藤壽一先生：監事には契約書の内容等も含めてきちんとした監査をし、報告して下さい。

三浦議長：よろしいでしょうか。きちんと調べなおし報告をしていただきたいと思いません。他にご質問はないでしょうか。ないようであれば、採決いたします。第1号議案平成25年度決算承認の件について、これを承認することに賛成の方の挙手を求めます。

～ 挙 手 多 数 ～

第1号議案は承認されました。次に協議となりますが、どなたか協議事項をお持ちの方はいらっしゃいますでしょうか。なければこれをもって、一般社団法人鶴岡地区医師会第99回定時総会を終了いたします。どうもありがとうございました。

(午後9時15分 閉会)

日 時：平成26年6月29日(日)
場 所：日本海一円

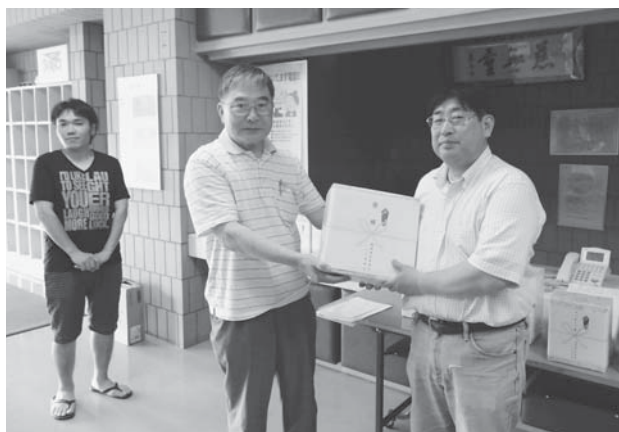
平成26年春季鶴岡地区医師会キス釣り大会の結果

昨日平成26年春季鶴岡地区医師会キス釣り大会が行われました。午前中は雨で午後は天気も回復してきました。沖には大きいキスがいるような情報がありましたが、岸から釣るには釣果はあまりよくありませんでした。最近では異常に多い釣果を競っていましたが、やっと落ち着いてきた感があります。これで誰でも優勝の可能性があるということです。朝早くから釣りに出かけたみなさん、どうもご苦労様でした。

それでは結果を報告します。

(敬称略)

優 勝	宮崎 健志	外 道 賞	宮崎 健志 (鯉45cm)
二 位	井上 祐司	珍 魚 賞	兼子 俊男 (篠小鯛)
三 位	御橋 慶治	大 物 賞	御橋 慶治 (キス20.3cm)
ラッキー7	光成 勇		



医師会釣り大会に参加して

宮崎 健志

平成26年6月29日(日)、鶴岡地区医師会釣り同好会恒例の春季キス釣り大会が行われました。天候は良くなく、前夜から雨が降り時には強く降ったり止んだりの雨模様でした。今回も2年前に優勝した場所である中浜で釣ることにしました。朝2時で起きて、上山から中浜に向かいようやく到着しましたが、すでに何人か釣り人が来ていました。前回と同じ場所で釣ることができませんでした。その近くで釣ることにしました。

まず第一投目を投げ、ゆっくり手前までは引きましたが手応えはなく、そのような時間が一時間ほど続きました。今日は釣れないのかなとがっかりしていたところ、特に手応えもなかったのですが、小さいけど最初の一匹を釣ることができました。それから小さめのキスがかかるようになりま

した。

そして6匹ほど釣ることができたところ、時間にして8時頃にかなり強い当たりがきました。大物ではないかと期待しながら巻きましたが、途中で何か引っかかったような感じで、全くリールが巻かれなくなり、どうしようかなと迷っていました。そのうちリールの糸が引かれていくようになったので、今度はゆっくり巻き上げていくようにすると、水面に黒く大きなものが見え、よく見るとヒラメであることがわかりました。今度はどう引き上げようか迷いながら波に合わせて波が高い時に思い切って砂浜に引き上げることができました。そのようにしたらヒラメが飛び跳ねて砂浜に上がったので急いで逃げないように捕まえました。やっと大物ヒラメが釣れて感無量でした。

ヒラメは45cm位の大きさに、針にかかったキスに噛みつき一緒に釣られた模様で運の悪いやつです。クーラーボックスに入れましたが、かなり暴れていました。今回は優勝できなくても外道賞は取れるのではないかと思います。

その後はキスの大物賞をとれるように引き続き釣りを続けましたが、天候の方は相変わらず雨が降ったり上がったりでしたが、波は穏やかでした。キスの方は小ぶりなのが釣れてきて、そのうちまた強い当たりがあり今度はヒラメに噛みつかれることなく20cm位のものを釣ることができました。それから急に天候が悪化し土砂降りとなり風も出て、これ以上に続けられないようになりました。周りの釣り人も帰っていったので、自分もこれで終わることにしました。

午後3時頃より計量開始。他の参加者も悪天候でもあり釣果も今一だったようで、結局16匹釣った私がまさかの優勝であり、外道賞は取れるかと思っていましたが、思いもかけず両方取ってしまいました。

家に帰りヒラメを見せたら家族もびっくりし、釣り大会で優勝したと報告したらまたびっくりしていました。食卓にヒラメの刺身とキスの天ぷらが出て、娘がおいしそうに食べていたので、一日の疲れが報われたような気がしました。今回も優勝しましたが、キス釣りは楽しいので出来る限り参加しようと思っています。



日 時：平成 26 年 6 月 1 日(日)
 7 時 53 分アウトコーススタート
 場 所：湯の浜カントリークラブ

第12回鶴岡地区医師会親睦ゴルフコンペ

さとう整形外科クリニック
 佐藤 慎二

昨年に引き続き、医師会ゴルフコンペ優勝させていただきました。

昨年の優勝と同じくダブルペリア方式での優勝ですから、実力ではありません。バーディをとった1番12番が隠しホールにならず、OB 2 発で 8 を叩いた 11 番が隠しホールになったため、ハンディキャップが多くついて優勝となっ



てしまいました。実質的な優勝はベスグロの五十嵐敬郎先生でしょう。優勝賞品だけは私がいただいております。

昨年も、これ以上書くことがなく、「今までのゴルフ歴と現状」を書き連ねましたが、今年もこれ以上書くこともないので、ゴルフに関する現状と今後の抱負を述べて原稿を埋めたいと思います。

この1年間、仕事以外はほぼゴルフに打ち込んでました。この1年間で練習場で約5万発の打ち込み、ラウンドは約100回こなしてきました。思ったほど上手にはならずでハンディキャップが15だったのがかろうじて9に届いたくらいです。俗にいうシングルというやつですが、なってみてシングルというのは下手でもなれるんだというのが一番の感想です。亡き父

競技方法：ダブルペリア 打数制限：ダブルパー HDCP上 男：34.0 女：34.0 HDCP下 男：0.0 女：0.0

順位	競技者名	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET
優 勝	佐藤 慎二	43	44	87	15.6	71.4
準優勝	菅井 健	52	46	98	24.0	74.0
3 位	阿部 和人	49	47	96	21.6	74.4

組み合わせ

第一組	三原 一郎	三原 美雪	佐藤 満雄	中村 誠一
第二組	小野寺俊直	五十嵐敬郎	阿部 和人	佐藤 慎二
第三組	伊藤 末志	阿部 鈴子	菅井 健	福原 晶子

がシングルはたいしたことない、片手（ハンディキャップ5以下）になって本物だと言っていたのを思い出しました。何となくたくさん球を打って、たくさんラウンドしたら形ばかりにシングルになりましたが、このままでは、シングルはすぐに返上でしょうし、片手は夢のまた夢です。これからは今まで通り馬車馬のように練習をするのも当然ですが、もう少し頭を使って練習して片手を目指したいと思っております。

す。来年の医師会ゴルフコンペには間に合いませんが、再来年には間に合うよう努力したいと思っております。

最後に、医師会ゴルフコンペの参加者がけっこう少なくなっております。たくさんの方々にご参加いただいでコンペは盛り上がりますので、是非、多くの方々にご参加をいただければと願っております。



特別寄稿

新潟地震の思い出

鈴木 伸男

当地にも犠牲者が出た1964年6月16日の新潟地震から50年が経ち、最近のテレビや新聞ではそれに関連することがとり上げられています。

当時、私は新潟に住んでいて身をもって体験しましたので、その思い出のいくつかを綴ってみます。

1. 地震直後

私は新潟大学病院に勤務していて、地震の起きた午後1時2分には、研究室で午後の仕事にとりかかろうとしていました。激しい揺れに何度か転びそうになりながら廊下を走って外に飛び出したところ、空には石油会社のタンクの炎上による黒煙が高く舞い上がっているのが見えて、とても不気味でした。

仲間の検査技師が「地震の際は便所の中が最も安全」という昔ながらの迷説？に従って、トイレに駆け込みましたが、後で聞いた話では、トイレの中はつかまるものがなくて揺れを凌ぐのに大変だったようです。トイレがつぶれれば彼は敢えなく憤死（糞死）ということにもなりかねませんでした。そうならなくて幸いでした。

2. 講義

学生の午後の講義は1時からで、その直後に地震が発生しました。ほとんどが即座に休講になりましたが、小児科の臨床講義だけが予定の50分間、やり遂げられました。その講義に出席していた当時4年生の石橋 清先生（鼠ヶ関、故人）から聞いたところによりますと、教授は頻発する余震にもめげず、時には教壇脇のストーブにぶつかったりして、学生の失笑を買いながら講義を続けられたということで、当時の大学内の美談？となりました。

3. 手術室

当日は各科の手術のほとんどが午前中に終わっていて、地震のときに残っていたのは外科の1つだけでありました。手術そのものは途中で止めるわけにはいきませんが、切ったり縫ったりの手術操作は一時停止せざるを得ませんでした。そのような状況の中で術者や麻酔医にとって何よりも心配であったのは患者のことでありました。術者と助手は頭上にグラグラと揺れ動く无影灯の落下から患者を守ろうとして患者の上に覆いかぶさり、麻酔医は揺れ動く重い麻酔器を力を振り絞りながら押さえて大事に至らずに済んで何よりでした。その現場に居合わせた麻酔科教授の一柳邦男先生（元日本海病院院長、故人）は「感動的な光景で、それを思い出すと涙が滲んでくる」と語っておられました。

4. 断水

私はその年の3月に結婚して、その後間もなくの時期に地震に遭いました。新生活を始めたばかりのアパートの廊下は傾いて、歩くときめまいのするような感じがしました。

地震直後から断水となったために、まずは被害を受けなかった親戚の家にお世話になりましたが、数日後にアパートの近くの道路端に仮設水道が設置されたのを機にアパートに戻りました。しかし私達の住まいは2階でしたので、特に家内は水運びに苦労しました。

地震の2週間後くらいのときに、私は先輩風を吹かせて、医局の独身の後輩数名を自宅に食事に誘いました。もてなしというわけにはいきませんでした。家内が食卓に並べた缶詰などのあり合わせのものを肴にしてビールを飲み、異常事態の中の緊張感もほぐれて話はずみしました。宴もたけなわのそのときです。部屋の外

から突然悲鳴のような叫び声が聞こえました。一同、部屋を出てみると、両手にバケツいっぱいの水を持って階段を上っていた家内が足を踏みはずして両脚の弁慶の泣き所を打ったところでした。みんなに肩をかかえられて部屋に戻った家内は後輩たちのいたわりの言葉に慰められて元気をとり戻し、彼らの帰る頃には、痛みはあったのですが、動きも普通になっていました。後で考えて、あのような困窮のときに客を招いたりして家内に対する配慮が足りなかったと反省をしましたが、一方で、そのときの後輩たちは、今でも忘年会のときなどに顔を合わせると、そのことに触れて謝意を述べ、「奥様によろしく」と言ってくれます。

断水は約2か月後に解除されましたが、その際、思わぬエピソードがありました。それは8月中旬のある夜、私共が外出からアパートに戻ったときのことでした。アパートに入った途端に、階下に住んでいた2世帯の人が部屋から出てきて「鈴木さん、大変だったんです。お宅のお陰で私達の部屋が水びたしになりました」と怒りを満面に表しながら言いました。それを聞いてすぐには事情が分からなかったのですが、

急いでわが家に入ってみたところ、台所が水びたしでありました。断水中は水道栓を開きっぱなしにしていたところに、予告もなく送水が行われたのです。被害宅からの知らせを受けて駆けつけてくれた大家さんが合い鍵を使ってわが家に入って栓を締めてくれたということでした。翌日、被害を与えた2世帯の部屋に菓子箱を持ってお詫びに行きましたが、それからその人達には頭が上がる思いでありました。

その後も幾度となく日本各地に大地震が起りましたが、新潟地震は私にとって忘れることのできない出来事です。



竣工したばかりで落橋した新潟の昭和大桥

YBCラジオ番組

「ドクターアドバイスできょうも元気」の放送について

月曜日から金曜日までYBCラジオの健康情報番組「ドクターアドバイスできょうも元気」を放送中です。当地区の担当は下記のとおりです。ぜひご聴取ください。

【放送時間：月曜日から金曜日の毎朝6時30分～6時45分、(再放送) 毎昼16時15分～16時30分】

放送日	出演者	放送日	出演者
7月14日～7月18日	荘内病院 丸谷 宏 先生	8月4日～8月8日	さくまクリニック 佐久間豊明 先生
7月21日～7月25日	協立病院 市川 誠一 先生	8月11日～8月15日	藤吉内科医院 藤吉 令 先生
7月28日～8月1日	荘内病院 三科 武 先生	8月18日～8月22日	阿部医院 真島 英太 先生

マイペット&マイホビー

— 第 89 回 —

スキューバダイビングから植物図鑑

佐久間医院 佐久間 正幸

私の趣味と聞かれれば、学生時代から当地に戻るまでならスキューバダイビングでした。伊豆半島なら東～南～西伊豆まで150本以上は潜りました。新婚旅行の半分はグレートバリアリーフで1週間、船での寝泊りでダイビングをしました。

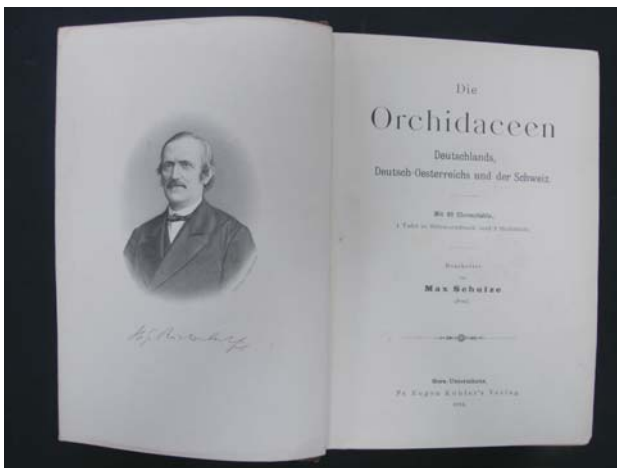
当時出たばかりのシャープの液晶ビデオカメラをハウジングに入れて撮影するか、水中専用一眼レフ NIKONOS RS AF で撮影したものです。当地に戻って数年はゲームやサイパンに行っていました。自分の体が動く内にサイパンのグロッドに行けたらと思っています。機材を背負っての、この階段の大変さは行った事がある方は忘れないと思います。今でも死んだらお墓ではなく、グレートバリアリーフは無理でも伊豆の海に散骨してもらいたいと思っています。

その後は色鉛筆で絵を描く事でした。禁煙繋がりで、ボタニカルアートで有名な杉崎夫婦を知る事となり、その作品を見て興味を持ち、気軽に描ける色鉛筆で食物画（植物画ではありません）を書くようになりました。果物や野菜、パン等を描いていました。主に使う色鉛筆は120色の油性色鉛筆です。他にも様々な100色程の色鉛筆を数セット持っており、コレクションもしていた為、一時期は10,000本近く持っていたと思います。今持っているのは自分が使うもののみであり、数百本程だと思っています。

スキューバダイビングも色鉛筆で遊ぶ時間も無くなったもので、描く時間が無ければボタニカルアートの絵が欲しいと思いました。興味を持ったのが植物図鑑でした。当初はヤフオクで1800年代の海外の植物図鑑の図譜を1枚単位

で落札していました。植物図鑑は有名なものですと、キュー王立植物園の『ボタニカル・マガジン』やロバート・ソントン『フローラの神殿』、フーカー、サワビー、エドワーズ、ミス・ドレークといったイギリスの名図譜、フランスのP = J・ルドゥーテの『バラ図譜』、ベッサ、トゥルパン等をセットで揃えようと思うと100万円単位になります。こんな物とはとてもではないですが、購入も落札もできません。今回紹介するのは、私が初めて購入した今から約120年前の1894年にドイツで出版されたものと、江戸時代末期の日本の物です。主にコレクションしているのは、1800年代末期ヨーロッパ、現在の印刷技術がなかった石版画の植物図鑑ですが、最近のもの1900年代でも気に入ったものはコレクションしております。驚くのはその絵の緻密さと100年以上経ったと思われない色の発色です。植物図鑑以外の稀本もありますが、どの本も古い本ばかりですので、カビている物もあり、保存は除湿剤と一緒に保存しています。植物図譜の歴史を解説すると、何ページあっても足りないので省きます。





Max Schulze Die Orchidaceen Deutschlands, Deutsch-Oesterreichs und der Schweiz (1894)

シュルツ氏の「ドイツ、オーストラリアとスイスの蘭」
1894年刊行 Fr.Eugen KoHer 社 第一出版

実際の図譜はインターネット上で全ての図譜が紹介されていますので、それは「めでいかすとる」が届いたら、MLにHPのアドレスを紹介しますので、ご興味がある方はご覧ください。色彩も、ほぼ私が持っているものと変わりありません。

「ドイツ周辺国に咲く華麗な蘭ばかりを集結した美しい図譜です。当時のヨーロッパ各地では、エキゾチックな南国の豪快な蘭が脚光を浴びておりましたが、地元の学者は高冷地に生きる地味であるが身近な着目して欲しいとのメッセージもこの一冊に込められたことでしょう。」という解説が購入時にありました。

92枚のクロモリトグラフ（多色石版画）を含む270ページの図鑑で、ドイツの有名な蘭に

ついでにの学者ヘインリッヒ・グスターヴ・ラインヘンバクのポートレートがあり、刊作家はマックス・シュルツ、絵の作家は不詳です。

もう一冊は日本の「本草図譜」です。以下はこの植物図鑑の著者 岩崎 灌園についての解説です。

岩崎 灌園（いわさき かんえん、天明6年6月26日（1786年7月21日）—天保13年1月29日（1842年3月10日））は江戸時代後期の本草学者。『本草図譜』（96巻）の著者である。『本草図譜』は20歳代から準備をすすめ20年をかけて作成され、文政11年（1828年）に完成した。これまでの本草書の図版が欠落していたり、精密さに欠けることに不満を感じた灌園が、自ら描いた2,000種の図を集大成したもので、92冊からなり、李時珍の『本草綱目』にしたがって配列された。5巻から10巻は木版印刷して出版された（1～4巻は『本草項目』が植物以外の薬の項目であるため5巻から始まる）。

今回紹介するのは、「果部 六十三 六十四」です。こちらMLで「本草図譜」の画像を見られるHPのアドレスを紹介しますので、興味がある方はご覧ください。

植物図鑑以外の稀本、ワインに関する物等もあります。すごく高価な物は無く、どれも実物を見ないと素晴らしさ、面白さは判って頂けないかと思ひます。素晴らしいと思ひているのは私だけかもしれません。



表紙

「湯見ヶ滝」

佐藤 洋司

昔から温海温泉の湯治客が山に分け入って湯見ヶ滝を鑑賞していたようですが、最近は幻の滝となっていました。以前から興味があり初見参でしたが、登山口から山の斜面を縫うように進み大汗かきながら30分あまり歩くと、水音が高くなり突如垂直に落ちてくる滝が姿を現しました。落差25m・滝壺は10mで、玉簾の小型版といった立派な滝でした。

編集後記

モンスター台風が沖縄を直撃し九州へ、庄内地方ではすでに激しい豪雨が襲っています。自然の猛威を目の当たりにして人間のもろさを再認識しています。

山形大学腎泌尿器外科の富田教授の講演はとても印象に残りました。ガイドライン治療の危うさや旧態依然とした学会への挑戦、世界の土俵で創薬プロジェクトを粛々と成し遂げる姿勢にただただ感銘致しました。

第99回の定時総会が新法人体制のもと行われ、慎重な審議のもと議案が了承されました。一部は後日報告の事案もありましたが、ピンと張りつめた雰囲気のもと新しい年度を迎え、気持ちも新たに再出発を誓いました。参加されていない皆さんは紙面での報告となりますので是非ご覧ください。

キス釣り大会、ゴルフコンペと庄内の自然を満喫しつつの親睦会でした。佐藤慎二先生も言われていますが、参加者がもっと増えるといいですね。

鈴木伸男先生の新潟地震の思い出は皆さんそれぞれの記憶をお持ちでしょう。私は亀ヶ崎小学校（酒田）の1年生でちょうど昼の下校時間でした。廊下が45度近く傾いたような記憶があります。「災害は忘れたころにやってくる」あの東日本大震災も過去に江戸時代それ以前にも繰り返す津波があったとのことでした。

佐久間正幸先生の植物図鑑のコレクションは是非、機会があったら実物を見せていただきたいですね。実際の図鑑のページが見られるHPを紹介していただけたらとのことですのでのぞいてみましょうか。個人的にはワインものに興味がありますが、ひょっとしてシャルル・マルタン「葡萄酒閣下」1927ですか？

みなさん、梅雨時は体調を崩しやすく気力も低下しやすい時期です。自分だけの楽しみの時間も大切に乗り切りましょう。

(中村 秀幸)

編集委員：三浦 道治・福原 晶子・三科 武・斎藤 高志・中村 秀幸・伊藤 茂彦

発行所：一般社団法人鶴岡地区医師会 山形県鶴岡市馬場町1-34

TEL 0235-22-0136 FAX 0235-25-0772 E-mail ishikai@tsuruoka-med.jp

ホームページにも掲載しております

鶴岡地区医師会  <http://www.tsuruoka-med.jp>